

2010 年 7 月

各 位

同 志 社 大 学
高等教育・学生研究センター
センター長 山 田 礼 子

I R ワークショップ開催のご案内について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

同志社大学、北海道大学、大阪府立大学、甲南大学では、平成 21 年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」の採択を受け、国公私立 4 大学が連携して、Institutional Research (I R) ネットワークを活用した学士課程教育質保証システムの創出に取り組んでおります。

今年度の事業の一環として、各大学において I R を担える人材を育成するために、「I R ワークショップ」を開催します。

つきましては「ワークショップ開催のご案内」をお送りさせていただきますので、関係者各位にご周知いただきますようお願いいたします。

敬具

<お問合せ先>

〒602-0932 京都市上京区新町今出川下ル徳大寺殿町 345

同志社大学 高等教育・学生研究センター事務局

TEL : 075-251-3296

FAX : 075-251-3295

E-Mail : ji-irnw@mail.doshisha.ac.jp

参加費
無料

日時

2010年8月23日(月)

12:30～17:15 [受付開始:12:00～12:30]

場所

同志社大学 今出川キャンパス

基調講演 明徳館1階 M-1教室

ワークショップ 弘風館2階 K-21教室

基調講演

13:00～14:00

テーマ

IRの実践

～単純なデータを意味のある情報へ～

アメリカIR学会(AIR) エグゼクティブ・ディレクター
ランディ・スウィング氏

日英同時
通訳付

定員
200名



講師

ワークショップ

14:15～17:15

テーマ

学生調査活用入門

～データの読み方・示し方～

青山学院大学 教育人間科学部 教育学科
准教授 杉谷 祐美子氏

(ファシリテータ:同志社大学 特別研究員 宮田 尚子氏)

定員
50名



講師

「学生調査活用入門 –データの読み方・示し方」

このワークショップでは、学生の学びの実態と教育成果を客観的に把握する方法の1つとして、学生に対するアンケート調査データの統計解析について紹介します。統計解析パッケージや表計算ソフトの操作をまじえながら、分析の基本となる度数分布表、クロス集計表等を作成し、それらをもとにグラフを作図する方法などを実践的に学びます。あわせて、データを解釈する際の注意点などについても説明していきます。

コーディネータ

同志社大学 高等教育・学生研究センター
特別研究員 江原 昭博氏

IR ワークショップ 開催のご案内

「IR人材育成のために」

主催／同志社大学 北海道大学 大阪府立大学 甲南大学

平成21年度 文部科学省 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム
相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出―国公私立4大学IRネットワーク

開催趣旨

本事業では大学教育の質保証システムの整備を目指し、同志社大学、北海道大学、大阪府立大学、甲南大学が連携して、学生調査を軸とした客観的なデータに基づいて教育の現状を評価するIR (Institutional Research) 機能の充実、IRを活用した連携大学間での相互評価、その評価結果を学生の学習時間の確保、単位制度の実質化に結びつける教育環境の整備を進めています。

IRとは、個別大学内の様々な情報を収集して、数値化・可視化し、評価指標として管理し、その分析結果を教育・研究、学生支援、経営等に活用することを指します。IRの機能として、①個別大学内での改善のための調査・分析と、IR先進国ですで行われている②ベンチマーキングのための調査・分析があります。私ども4大学の連携プログラムでは、調査・分析機能を複数機関間の「相互評価」による自機関の相対的な位置づけとして活用することを目的としています。

具体的な取り組みとして、大学教育の質保証システムの整備に向け、学生に関する教務情報と学生調査等の客観的な評価データを総合的に分析し、その結果に基づく現状評価と「相互評価」を行うことで、学生本位の教育改善を進めることを目指しています。学生に対する教育効果、学生の学習成果を測定し、その改善

の過程を多くの大学が共有することにより、より良い教育環境を提供し、教育方法等を開発していくことは、高等教育全般の質の向上のためにも重要です。本事業では、このような評価文化を国内に広げ、IRを基盤とした全国規模の大学コミュニティづくりに向けて、連携大学が協力してIR人材育成を進めることを最終目標としています。

このワークショップを通じて、学生調査結果に基づく学生の学びの実態と教育成果を把握する手法やノウハウの共有を図り、IRに携わる人材の育成に貢献します。前半は、アメリカIR学会(AIR)のエグゼクティブ・ディレクターのランディ・スウィング博士から大学教育におけるIR機能の意義について基調講演をいただきます。後半は、青山学院大学教育人間科学部杉谷祐美子先生を講師にお迎えし、学生調査データの分析に関する体験型ワークショップを予定しております。今後の大学教育の質保証について、皆様と情報を共有し、一緒に考える機会となることを期待しております。

ご関心をお持ちの大学教育関係者の方のご参加をお待ちしています。

プログラム

- 12:30~12:40 **あいさつ**
八田 英二 (同志社大学 学長)
- 12:40~13:00 **戦略的大学連携事業紹介・本日のワークショップについて**
山田 礼子
(同志社大学 高等教育・学生研究センター長 社会学部教育文化学科教授)
- 13:00~14:00 **基調講演**
ランディ・スウィング (アメリカIR学会(AIR) エグゼクティブ・ディレクター)
- 14:15~17:15 **ワークショップ**
杉谷 祐美子 (青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 准教授)



○地下鉄「今出川」駅から徒歩1分 ○京阪「出町柳」駅から徒歩15分

申込方法

電子メールで申し込まれる場合、①氏名、②所属、③部署、④役職、⑤E-mail、⑥電話番号、⑦FAX番号、⑧参加希望プログラム(基調講演・ワークショップ)をご記入の上、ji-irnw@mail.doshisha.ac.jpまでご送信ください。(タイトルに「IRワークショップ申し込み」とご記入ください。)

FAXで申し込まれる場合は、下記FAX申込書にてご送信ください。なお、お申し込み者多数の場合や1大学の参加者数が集中した際にはご希望に添えない場合もございますので予めご了承願います。

お問い合わせ先

同志社大学 高等教育・学生研究センター事務局
〒602-0932 京都市上京区新町今出川下ル徳大寺殿町345
TEL:075-251-3296 FAX:075-251-3295
E-mail: ji-irnw@mail.doshisha.ac.jp
HP: <http://www.irnw.jp/>

申込期限 2010年8月2日(月)

FAX申込書

FAX:075-251-3295

IRワークショップ申し込み

ご参加をご希望のプログラムに印をお付けください
両方お選びになっても結構です

☐ 基調講演

☐ ワークショップ

フリガナ

氏名:

所属:

部署:

役職:

連絡先

E-mail:

TEL:

FAX: